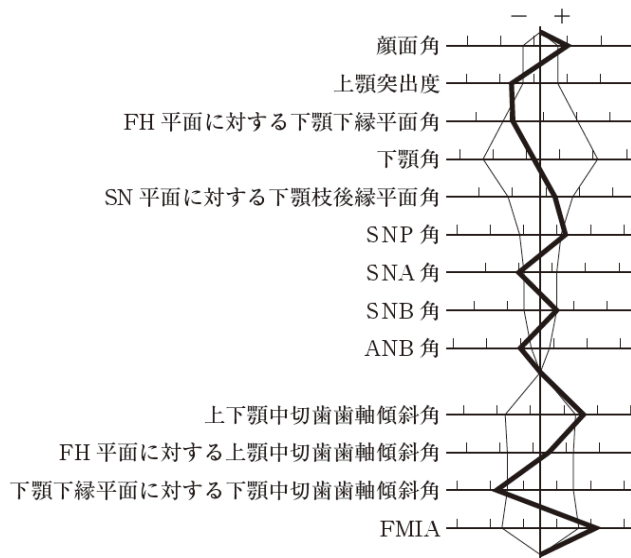


第110回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 31 問

31 9歳の男児。上顎両側犬歯の位置異常を主訴として来院した。前歯部で早期接触が認められたが、下顎位の前方偏位は0.5mm程度であった。初診時の顔面写真(別冊No. 30A)、口腔内写真(別冊No. 30B)及びエックス線写真(別冊No. 30C)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



第一期治療における治療方針で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 下顎の後下方回転
- b 下顎前歯の唇側移動
- c 下顎大臼歯の遠心移動
- d 上顎骨の前方成長促進
- e 上顎第一小臼歯の抜去

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理由)

設問が不明確で正解が得られないため。